板城西っ子

東広島市立板城西小学校
学校だより
校長　増上　正美
令和6年2月22日

学校教育目標　　夢と志をもち「自分育て」をする子どもの育成
～かかわりあいながら「いいちえ」「いいあせ」「いいこころ」で自分を伸ばす子ども～

人生で一番若いのは・・・それは今日です！

　ちまたではインフルエンザやコロナなどの感染症や風邪が流行していますが，3連休明け先週4日間の欠席者は1名でした。健康の土台を支える睡眠・食事・運動を整えてくださり本当にありがとうございます。

　6年生の登校日数は17日，1～5年生は21日（今日も含めて）となりました。残りの日々の過ごし方で，卒業式や修了式での達成感は変わっていくと思います。大人も子どもも自分の成長を実感できる毎日を送っていきましょう。

新しい自分との出会い　あなたの夢は？

　2月7日（水）校内ロードレース大会では，保護者の皆様からの温かい声援，ありがとうございました。

　この日はプロマインド・トライアスリート福元哲郎さんに来ていただきました。福元さんは数年前から本校のロードレース大会に来てくださるようになり，昨年から，児童や教職員，保護者の方に向けて話をしてくださっています。また，児童と一緒に走ってくださることでいつも以上の力を出せた児童も多くいます。福元さんのウエアに書かれた「あきらめなければ夢100%」は，いつも隣に置いておきたい言葉です。

【児童から福元さんへのお礼の手紙】

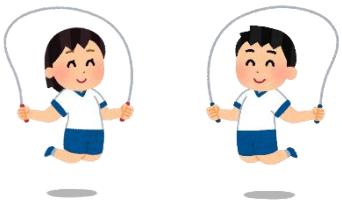
　いろんなことを自分で信じたいし，かのうせいは3万倍あると思ったから，あきらめずできると思いたいです。ゆめに向けての努力をがんばりたいです。

　ぼくは福元さんのお話を聞いて，あきらめなければ自分の夢の形は変わっても叶うことが分かりました。

　ノミのお話では自分には可能性があるのに自分であきらめてしまうけれど，仲間の姿を見てまた跳ぶことができることが分かりました。ぼくも自分の可能性をあきらめずにいきたいです。夢を叶える人の「絶対・優しさ・ありがとう」をできるようにがんばっていきたいです。

　ふくもと先生が話してくれた「あきらめなければゆめ100ぱーせんと」のおかげでぼくのゆめはプロサッカーせんしゅになることだからなれるかなと思いました。

2月も　元気！笑顔！な子ども達



2月16日（金）体育委員会の企画でなわとび大会を行いました。

低・高学年ごとに全員での前跳び1分間跳び，次に自分が決めた跳び方の1分間跳びに挑戦しました。この大会に向けて休憩時間に練習をする児童の姿が多く見られました。

今年度たくさんの企画を計画・実行してくれた体育委員会のみなさんありがとうございました！

ジャンプすると　こんないいことが！

☆彡骨に衝撃を与え，骨が強くなります！

☆彡幸せホルモンのセロトニンが分泌されます！

エアー縄跳びでも効果はあります。毎日30秒…5回…1回…（0でなければ OK）ジャンプすることをおすすめします。ジャンプの習慣で強い骨＋幸福感を手に入れましょう。

4年生は地域の防災への取組を学んでいます。

4年生は社会科で防災について学びます。その学習を受けて板城西小学校の4年生は、総合的な学習の時間で「地域の防災への取組」について調べることにしました。

ところで、広島県では平成26年8月豪雨で広島市安佐北区、安佐南区が土砂災害による被害を、平成30年7月豪雨では東広島市も甚大な被害を受けました。

平成30年7月豪雨では、黒瀬町市飯田の洋国団地が大きな被害を受けましたが、住民の皆さんは事前に避難し全員が無事でした。全国ニュースにもなりました。4年生の子どもたちは、団地の皆さんがどのような取組をしていたのかを調べました。万が一の時は、他の家の敷地を通っても良いとか、お年寄りについては誰が一緒に逃げるかなど、多くの工夫がされていることが分かりました。

次に板城西地域での取組について調べました。防災部長の新内様からは具体的な資料をいただきました。広島県防災アドバイザーの網川様には、保田地域の取組について教えてもらいました。子どもたちは熱心に学んだので多くの質問が生まれました。網川様は二度も学校にお出でくださり、子どもたちの質問に丁寧に答えてくださいました。子どもたちの生活と結びついた生きた学習になりました。

コミュニティ・スクール推進員　宗近秀夫